

# 再開発ビルへの市営バス 運行について

質問（鈴木徳雄議員）市街地活性化事業については、中央通り地区において分譲マンション・商業施設・図書館などの公益施設等を含めた複合用途の再開発ビルの建設が五月末に着工され、新しいまちづくりがスタートしました。

この活性化事業では、市営バスを有効に活用して、再開発ビルへ市営バスを乗り入れて、市街地のにぎわいにつなげる事ができるのではないかと考えま

すが、市の考えを伺います。

答弁（市民生活部長）中心市街地への公共交通を利用したアクセスにつきましては、先に策定いたしました大田原市地域公共交通総合連携計画の中で重点目標の一つとして掲げております。

昨年、大田原市地域公共会議が実施した公共交通の利用実態調査で、多くの市民が大田原地区で買い物や通院を済ませ、また現大田原赤十字病院の通院者の六割



平成26年4月開園に向け工事中の（仮称）多目的公園

# （仮称）多目的公園について

質問（中川雅之議員）J・T跡地に整備している（仮称）多目的公園の整備概況及び管理について伺います。

答弁（市長）大田原市中心市街地活性化基本計画の基幹事業として位置づけられております、（仮称）多目的公園については、敷地面積約一万六千平方メートルで防災機能を有しております。当公園の特徴は、防災機能として、備蓄倉庫、防火水槽、テナントとして利用できるあずまや、かまどベンチ、くみ取り式の簡易トイレなどを設置しまし

の方が通院のついでに買い物を済ませるとの結果が出ており、買い物や通院目的で訪れる方々を中心市街地に誘導することで中心市街地の活性化を図ることができると考えております。

中心市街地への市営バスの乗り入れにつきましては、中心市街地がバス乗り継ぎの中継地となるような路線を検討するとともに、現在工事中であります幹線道路や中心市街地内の停留所を設けるなど、中心市街地が活性化し、利用者の利便性が向上するような対策を講じてまいりたいと考えております。

また、地下水を使用いたしまして、ふだんは噴水に利用し、非常時には避難者の飲料水として利用できるよう塩素滅菌装置なども設置しております。工事の進捗については、第一期工事が平成二十四年二月に完成しており、園路などは予算の都合上、路盤工事まで終了していません。今後の予定といたしましては、都市計画道路3・3・2号大田原野崎線の用地買収に伴い、当該公園と道路の間に残る用地の買収を平成二十四年度

に行い、平成二十五年度に第二期工事をすべて発注し、平成二十六年四月に開園する計画であります。

なお、第一期工事の完成直後から、ほぼ完了しているように見えることから開園に関するお問い合わせを多数いただいております。早期開園を目指し計画の前倒しを検討しているところでありまして、また、管理につきましては大田原市管理公社に委託を予定しております。開園までの芝刈りや植木の剪定などの管理は適正に行いたいと考えております。

また、今年度の上半期中に防災関係の備蓄品を倉庫に備蓄する計画を進めております。



再開発ビルの建設工事が始まりました